

新理事長挨拶

社会福祉法人 至泉会

理事長 辻 隆造

『社会福祉法人 制度改革に当たって』

制度改革に当たって

昨年十一月十九日の理事会・評議員会におきまして、森三郎理事長より重責を引き継ぐことになりました。法人に所属しソーレ平塚地域支援センター長として八年七カ月の経験はあまりに短く、法人の全貌を十分に把握せぬまま就任し、多くの方々に心配をおかけしていることと思ひ、一日も早くご安心いただけますように努力する所存です。

振り返りますと、創業者であります前理事長は、ご夫婦で昭和五十四年六月に、秦野市の菩提に社会福祉法人至泉会を立ち上げ、その地であげほの園（障害児通所施設）を開設したのを皮切りに、昭和五十八年四月に精陽学園（障害児入所施設）、平成十一年四月には、ソーレ平塚（障害者入所施設）・ソーレ平塚ケアセンター（現ソーレ平塚地域支援センター・障害児者通所施設・障害児者相談支援事業）を設立する等、障害者の地域生活の充実と、施設での生活を余儀なくされた人への途切れのない支援を行って来ました。さらに、平成十六年四月には、伊勢原市のすこやか園（障害児者通所施設・障害児者相談支援事業）の委託管理を受

け、今日に至っております。

この三十八年の歴史を継続し、新たな時代に即しながらも、法人の理念を継承せねばなりません。この基本的精神については、次の文面に表わされています。

『至泉会』の「至」の字には、ものごとの根源に至る、という意味があり、「泉」については、汲めども尽きない豊かな水がいつも湧き出ている園（その）をイメージしています。そこから、湧き出ずる泉のごとく福祉の心が絶えない法人でありたいという願いが込められています。』

理事長 森三郎

《会報しせん第一号》

平成二十六年八月一日発行より抜粋

さて、社会福祉法の改正により、社会福祉法人の運営に関する法制度改革が行われ、今年度から全面的に施行される運びとなりました。これに合わせ本法人も、評議員会、理事会の役員構成と運営方法を初めとして、様々な改正や見直しを行いました。

今年度は、次の五点を重点課題とし、本部及び本部長を中心に、各施設長（理事）が分担して取り組むこととしました。

- 一 職員採用・人材育成
- 福祉分野での就労希望者が減少している現状への対策と採用後の育成と定着

を検討します。

二 人事労務管理・情報システム管理
職員の健康管理、やりがいのある働き方を模索し、いかにして離職を少なくするかを考えます。法人全体で情報管理について検討し、省力化のためのシステム管理を検討します。

三 法令遵守・規程整備
制度改革に合わせて意識改革を図ると同時に、法人の規定を全面的に見直します。

四 大規模修繕・建替計画
法人創設時の建物の老朽化や現代の生活スタイルに合わない居住環境等を見直し、修繕や立替えの検討を始めます。

五 財務規律強化
年々厳しさを増す財政状況を鑑み、健全な財務について検討を加えます。

今年度を皮切りにこれからも新制度に適う社会福祉法人として、改正を心掛け、絶えず運営を見直す必要があるものと考えております。

ここに、今後とも関係各位のご支援をお願い申し上げます。



平成二十九年年度
辞令交付式・新採用職員研修

今年度もフレッシュな職員が入職し、四月三日に辞令交付式並びに新採用職員研修が執り行われました。辞令交付式後、新採用職員に加えて昨年度中途採用された職員も含めて研修を行い、理事長から祝辞並びに「当法人の職員に期待すること」という表題で話があり、その後、常務理事から「法人の理念、組織、人事考課」、「職員倫理綱領」、「障害者虐待防止」、「就業規則」や給与規程等の諸規程」等について説明があり、当法人の職員としての第一歩を踏み出しました。入職者の経歴は様々ですが、どの職員もご利用児・者、ご家族のニーズに添えるよう毎日頑張っています。慣れるまでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、温かく見守ってくださいますようお願いいたします。

平成二十九年年度
新採用職員

- ◇あけぼの園
 - 山崎 朋子 児童指導員
 - 高梨 理奈 保育士
 - 今井 ゆき 児童指導員
- ◇精陽学園
 - 野島 菜々恵 保育士
 - 伊藤 静香 児童指導員
 - 佐々木信昭 保育士
- ◇ソーレ平塚
 - 安藤 慶人 生活支援員
 - 高橋 いづみ 生活支援員
 - ◇ソーレ平塚地域支援センター
 - 麻生 真理 支援員
 - ◇すこやか園
 - 重田 夏枝 看護師



平成二十八年年度
中途採用職員

- ◇あけぼの園
 - 宮川 結衣 保育士
 - 山崎 由美 児童指導員
 - 北村 智子 保育士
- ◇精陽学園
 - 山崎 京子 調理員
 - 鈴木 詩津子 調理員
 - 三浦 志穂 児童指導員
- ◇ソーレ平塚
 - 今井 里織 介助員

◇ソーレ平塚
臼井 正明 支援補助員



人事異動

- ◇精陽学園
 - 主任 千葉 真紀子 (あけぼの園より)
- ◇ソーレ平塚
 - 生活支援課長 勝山 靖史 (すこやか園より)
 - リーダー 高尾 一貴 (精陽学園より)
- ◇ソーレ平塚地域支援センター
 - 副センター長 (通所支援課長、相談支援課長兼務) 島田 哲 (ソーレ平塚より)
- ◇すこやか園
 - 副主任 福田 勝範 (ソーレ平塚地域支援センターより)

今号のテーマ

以前は、就職しても長期間勤務する職員が少なかったのですが、最近は業務の見直しなど行ってきたこともあり少しずつ職員の在職期間も長くなってきました。そこで、「しせん」第四号では、「やりがい」をテーマに勤続年数の長い職員に「仕事のやりがいや楽しさ」、「当法人又は勤務している施設の良さ」、「何を乐しみに仕事を行っているのか」等、職種にこだわらず聞いてみました。普段同じ職場でも職員間でこのような話はないと思いますので、「一読いただければと思います。」



◇すこやか園
相談員 関 淳一 (ソーレ平塚より)

表彰

【法人功労表彰】

理事長として昭和五十四年に法人を設立してから平成二十八年十一月まで法人並びに施設運営に対する多大な功績をたたえ、顕彰しました。

森 三郎 氏 (前理事長)

【法人永年勤続表彰者】

毎年、法人内外で多くの職員が表彰を受けるようになってきました。今年も四月四日に法人永年勤続者表彰式が行われました。当法人も少しずつ勤続年数の長い職員が増えてきました。今後も法人として業務の改善や職場環境を整え、一人でも多くの職員がやりがいを持ち、長く働けるよう努めていきたいと思えます。

勤続三十年

清水 行夫 (ソーレ平塚)

勤続二十年

福井 朱美 (法人本部)

野村 登美子 (精陽学園)

勤続十五年

田島 聡子

(ソーレ平塚地域支援センター)

加藤 尚通

(ソーレ平塚地域支援センター)

峯本 敦史 (精陽学園)

勤続十年

木村 伸江 (あけぼの園)

卯月 浩嗣 (ソーレ平塚)

大豆生田浩子 (すこやか園)

石川 恵子 (すこやか園)

小俣 彩 (すこやか園)

森 公子 (法人本部)

岡本 晴美 (すこやか園)

勤続七年

高橋 由佳 (精陽学園)

古尾谷 一宏 (ソーレ平塚)

笹川 裕子 (ソーレ平塚)

奥田 雄祐

(ソーレ平塚地域支援センター)

関 淳一 (すこやか園)

【法人特別表彰】

アルバイト看護師として、多年にわたりすこやか園に通所する園児や利用者の健康管理に努めたことをたたえ、顕彰しました。

米満 妙子 (すこやか園)

【厚生労働大臣表彰】

重野 美樹 (精陽学園)

【神奈川県社会福祉協議会会長顕彰】

加藤 尚通

加藤 尚通

(ソーレ平塚地域支援センター)

下前 満喜子 (すこやか園)

【関東・甲信越地区身体障害者施設協議会永年勤続表彰】

福井 朱美 (法人本部)

加藤 雪子 (ソーレ平塚)

吉川 千代子 (ソーレ平塚)

奥野 昭子 (ソーレ平塚)



寄付

次の皆様にご寄付をいただきました。ありがとうございます。

渡辺 敏郎 様

小野 剛 様

大石 哲 様

匿名ご希望者 様 (順不同)

※各施設へご寄付をしていただいた方については、各施設の機関誌に掲載いたします。

助成

このたび、社会福祉法人神奈川県共同募金会様よりソーレ平塚ケアセンターに助成金をいただき、日産キャラバン車いす仕様を購入いただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。





児童発達支援センター

あけぼの園

〒259-1302 秦野市菩提507-1

0463(75)1601

<http://www.sisenkai.com/>

曜日：月～金

時間：10時～14時

定員：30名

対象：就学前の幼児

あけぼの園はことばや身体の発達に遅れや心配のある子どもたちのすこやかな育ちを応援、支援する施設です。ここでは園での一日の生活例を、日課表を通してお伝えします。

日課表



【朝の支度】

リュックの中身を出します。自分でできるよう絵カードを用いて、目で見てわかりやすくしています。



【朝の会】

お箸を練習するぞっ！



【静の活動】

製作や手先課題、砂・粘土などを着席して取り組むことで集中する力をつけ、手の機能を高めます。また感覚を養います。



【動の活動】

室内・戸外ともに体を動かすことで、体力をつけたりさまざまな身体機能を高めます。



【給食】

雨でも
へっちゃらだよ♪



【午後の活動】

お子さんの体力や興味・関心、午前中の過ごし等を総合的に判断して活動内容を決めています。



【帰りの支度】

自分の籠からリュックに荷物をつめていきます。



一人ひとりに自分のマークがあるんだよ！

【帰りの会】

帰りの挨拶の後、バスに乗って帰ります。



あけぼの園

くやりがい



山田あけみ
事務員
副主任

現在あけぼの園で事務の仕事をしている山田です。今回の題名は「くやりがい」のこと。あけぼの園で十数年働かせていただいておりますが、日々勉強のやりがいがある仕事です。と書きたいところですが、続けてこられたのは福祉施設の温かさがあるからと思っています。子どもが年少頃にすこやか園にパートで勤め始め、あけぼの園で常勤として働いていくかと思った時、子どもの病気等のお休みで迷惑をかけてしまつかもと躊躇したのですが、前理事長より「そんなことは気にしないでいいよ」と言っていた。いた言葉に後押しされ、温かい職場で現在まで続けております。

また、園に通う子ども達の笑顔や成長を感じられることも続けている一つのなっています。

今後は、あけぼの園の先生方の働きやすい職場環境に貢献できるような、私も役立ちたいと思っております。

市川 由美



児童指導員

「ちょっとPTT訓練を手伝って」とあけぼの園の前園長から電話を受け、「やってみれば」との主人の言葉に背中を押されて、あけぼの園のパート職員として働き始めて八月末で十七年になります。結婚前に精陽学園で四年働いていたので、至泉会には二十一年もお世話になっていることになりました。

子育てと平行しての仕事は大変なこともあり、子育てに悩んでイライラしている時には、職員の子ども達をみる熱いハートと冷静な目に子育てのヒントをもらい助けられたことが何度もありました。

『初めてお母さんと笑って』『いつかママ』と言えた』『お父さんと手をつなげた』『ホールまで歩けた』『一番でなくても泣かなかった』『給食を全部食べられた』など、子ども達の成長は一人ひとり違います。けれど一人ひとりに成長している、その成長を子ども達やご家族と一緒に喜びることができていることに幸せとやりがいを感じ、長い間この仕事を続けてこられたのだと思います。そしてこれからも続けていけるように頑張りたいと思います。

木村 伸江



相談支援専門員
リーダー

あけぼの園に入職し、クラス担当として園に通うお子さんの集団生活の関わりに携わらせてもらいました。試行錯誤と反省の毎日で、「あの時こうすれば良かった」「ああすれば良かった」と今でも時々思い出しては落ち込みます。しかし、お母さん方と一緒にお子さんの成長を願う、想い、考え、取り組み、を繰り返す日々は一人一人濃い毎日で、たくさん喜びがありました。

ここ数年は相談支援として、お子さんとの過ごし方の時間よりもお母さん方とお話をする時間が大幅に増えました。一日一日の色濃さは薄れたものの、あけぼの園以外での過ごしにも重きを置いて思いを巡らせお母さん方に寄り添い、お子さんのことを一緒に考えさせてもらえるところとは以前とは違った喜びがあります。また、他事業所とのやりとりを通して、広い視野と長い目でお子さんの姿を見させてもらえることも大変嬉しいことです。

武藤 恵子



児童指導員

『至泉会』との出逢いは〇〇年前、福祉施設での勤務を経て「ソーレ平塚」開所に伴い職員募集に応募しました。

「あけぼの園」を出発し（なんと！）登山が、採用試験の最終試験でした。

同期の仲間の多くは新卒の方達で、お互いに不安を抱えながらも毎日充実して楽しく、より良い支援をしていきたい！と模索していたあの頃をとて懐かしく思い出します。専業主婦を経て、再び「ソーレ平塚地域支援センター」にて非常勤職員として採用していただきました。利用者・ご家族の皆様のあたたかさ、同僚の理解に支えられて、とても楽しく充実した日々でした。

現在は再び職員として採用していただき「あけぼの園」にて二年目になります。可愛らしく、とてもがんばり屋さんのお子さん達と一緒に過ごす時間に、とても癒されています。時には真剣に向き合い、そして笑い合い、お子さんの成長を保護者の皆様と一緒に見守る事が出来る時間を大切に大事に勤めています。

「これから、《楽しく・明るく・常に前向きな姿勢で》をモットーに、実践してまいります。」



ソーレ平塚

私の支え

江口 美香子



看護師

私は、ソーレ平塚に就職して十五年が経ちます。長い年月続けて来られたのは職場環境に大変恵まれていたためと、そして、どんな時も傍らを支え続けてくれる、かけがえのない大切な人との出会いがあったからでした。彼女と意見を交わす時間はとても楽しく学ぶことが多いです。居住者さんからの「ありがとう」の言葉にも支えられています。奥が深い仕事です。いつの時も「これでよし」と言う事ではありません。日々、試行錯誤が続きます。だからこそ「やりがい」に繋がっていると感じます。居住者さんが安心して笑顔で過ごしていただけるように、これからも、お手伝いしていきたいと思っています。

私が仕事を続ける理由

小山内 景子



管理栄養士
主任

私がソーレに勤めて、十八年目になりました。新卒での栄養士になりたての頃は、栄養業務よりは、給食業務を主としており食形態も刻み食でした。今はというと、栄養管理業務が中心となり、個別対応が多くなりました。食形態も「柔らかい食事」が主流となり、ソーレでも咀嚼嚥下し易い食形態へ変更しています。栄養業務で、利用者さんの個別対応で大変な時もありますが、手探りの物が見事に合った時の達成感が楽しくもあり、もっとより良いものをというモチベーションにもつながっています。又、いつでも「ご飯美味しかった」の一言は、私の仕事の活力です。



やりがいについて思う事

星野 敬義



生活支援員
副主任

私の職場でのやりがいの一つに、「実習指導」があります。入職して三年目から実習生と共に働く機会を得ました。一日、二日程度の体験的なものからがっつり四週間のものまで。そして、福祉系の大学・短大・専門学校から看護学生、医学生、教員免許取得と様々な学生を受け入れています。

ソーレ平塚での実習を経験し、後に福祉介護の現場に配属となるわけですから、自身の戒めにもなっています。実際にソーレ平塚の実習を経て入職する職員もおり、大変うれしく思います。かつて、私も実習生でした。お世話になった施設の職員から教わったこと、経験したことは、今でも糧として心の中に残っています。

実習生は、宝であり、未来への希望でもあります。今日もまた、人と関わる仕事に就くことを目指している方々に少しでもお役に立てれば幸いです。

やりがい

中川 淑子



生活支援員
副主任

二十才で至泉会に入職し、精陽学園・あけぼの園・ソーレ平塚と三施設で働かせていただき、たくさんの人と出会いたくさん経験させていただきました。初めは、障害を持った子どもたちとどう関わっていくのかわからず、泣かれたり怒られたりと戸惑うことばかりでした。辛いこと、きつかった事は、数えきれないほどありましたが、それを乗り越えた時の充実感と達成感を同じくらい経験することが出来ました。そして、この仕事を通じて自分自身が成長させてもらった事を実感しています。

ソーレに入職して九年目になり、今は居住者の皆さんが毎日の生活の中で笑顔になってくれることが一番のやりがいです。

ソール平塚地域支援センター

〜一緒に悩んで〜

島田 哲



副センター長

自分が出ることには価値を感じるのが「やりがい」に繋がると思っています。

ソール平塚が開所した十八年前は介護保険制度が始まる一年前ということもあり、「これから福祉だ」と世間では言われ、私も希望に満ち溢れてこの仕事に就きました。実際に勤め始めると、思い描いていたようにはいかず、仕事に行くのが嫌だと思つ日々もありました。人の関わりが中心の仕事なので、利用者さんとの関係づくりなどのように臨めば良いのかと悩んでいました。

勤めて二、三年が過ぎた頃、前理事長に「利用者さんの職員は」一緒に悩んでよ。「と声を掛けてもらいました。悩みが尽きないことに不安を感じていたらどうに」「一緒に悩んで」と言われたこと、私の考えは変わりました。「答えは出せなくても一緒に悩むことはできる。そこから始めてみよう。」「その考えをもう一回ひらき直してみよう。」

それが私の「やりがい」なのかも知れません。

〜私のやりがい〜

小池 美樹恵



看護師
看護リーダー

ソール平塚地域支援センターで働き始めて十年が経ちました。その少し前にはソール平塚、精陽学園で勤務していました。

私のやりがい・・・笑顔があふれる温かい職場の雰囲気私をやる気にさせてくれます。

利用者さん、ご家族そして職場の仲間、上司皆が笑顔で私を受け入れてくれます。その倍の笑顔を返そう！そうするとまた笑顔が返って来てお互いを元気にしてくれます。その積み重ねが私にパワーをくれます！

利用者さんに私は声が大きくて元気だと言われます。いつも賑やかで迷惑をおかけしております。(実は元気ではない時もあるですよ！おしとやかな一面だつて・・・)と、思いながらも前へ前へと温かく背中を押してくれる皆さんの笑顔が私のやりがいそのものです。そしてやがいのある仕事に全力を注げるように、陰で支えてくれる家族が私の仕事を認めてくれています。

それもパワーの源です。

〜初心忘るべからず〜

佐藤 正子



支援員

私は、『初心忘るべからず』の言葉を大事にしています。自分が詰まったときは、振り出しにもどり、先輩に教わった『心を柔軟に』で待つこと。言葉思い出し、自然なゆっくりの時間の大切さを忘れないようにもしています。活動で皆と大きな声で歌い、新しい曲へのチャレンジ。練習を重ね、皆と一つになって歌い「やったね。」と笑顔が溢れます。本読みでは、「今日はどんな本？何が始まるの！」と集中した視線と期待を感じます。皆と一緒にの安心感もあり穏やかな時間が流れます。こんな沢山の気づきが、やりがいに通じると思っています。

利用者の体調を考えながら、「口卓球や風船バレーに参加。白熱してくると、お互い声かけをし、励まし合うこの和やかな雰囲気も、長く続けられた理由のひとつかもしれません。

ソールは皆と同じ方向を向き、つながっている。いつも思っています。出会いを大切に、「コミュニケーションをとる」から、思い合う気持ちを持って、これからもやっつけていきたいと思っています。

〜やりがい〜

渡部美代子



事務員
リーダー

「ありがとう」の一言をもらった時、私は自分の仕事に「やりがい」を感じます。

事務の仕事は、毎日・毎月決められた業務をこなすルーティンワークです。細かい作業や単調な作業の繰り返し等「面倒だな」と思うことが(実は)あるのです。入職当初は、慣れない作業に追われ、自分に与えられた業務をこなすだけで精いっぱいでしたが、十年経った今、職場環境も自分のスキルも変化し、日々の業務にも少しずつ余力が持てるようになりました。

余力が持てるようになった今「面倒だな」と思った作業を、少しでも効率良く進められる方法はないか考えながら仕事をしています。スムーズに処理できた時は、こっそり達成感を感じています。そして「ありがとう」の声をかけてもらえた時。自分の仕事に役に立ったと実感でき、その瞬間、事務という仕事に「やりがい」を感じ、「また、頑張ろう」と思えるのです。

これからも、事務の仕事を通じて、少しでも皆の業務の役に立てるよう、たくさん「ありがとう」を言ってもらえるよう頑張ります。

すこやか園

神奈川県伊勢原市桜台 4-5-20

TEL:0463-93-6914 FAX:0463-94-3846

すこやか園ってこんなところ→伊勢原市の指定管理施設です。

5つの事業があります。

すこやか園の事業を紹介します！

地域活動支援センター

「一人ひとりの可能性を大切に」をテーマに、健康管理を基本として「スヌーズレン」「創作」「機能訓練など」の各種活動を通じて、利用者さんが主体的に参加でき、活動の楽しさを肌で感じられるように支援しています。また、活動における利用者さんの希望や個性を大切にしながら、プログラムを提供しています。活動を通じて、利用者さん同士や地域の方々とのコミュニケーションが深められるよう継続的に支援します。

児童発達支援事業

発達にゆっくりさがあったり…。保護者が子育てをする中で気になることがあったり…。発達に心配を感じたり関わりに工夫が必要な就学前のお子さんが、保護者と一緒に登園していただく母子療育です。グループ療育・個別療育があり、お子さんの発達に合わせた療育形態を利用していただいています。療育を通して、お子さんの発達の状態を確認し、必要な手立てを保護者と一緒に考えます。

日中一時支援事業

日中一時支援事業「ひなたぼっこ」では、次のことを目的に支援にあたっています。

- ①障がいのあるお子さんの日中活動の場を提供し、ご家族の方々を支援しています。
- ②お子さんがお友達や職員と時間を共有する中で、リラックスした時間を過ごすことを大切にしながら、一人ひとりの余暇の充実を図ります。

相談支援事業

福祉サービスについての情報提供と利用のための調整を行います。

ご本人やご家族の思いをうかがい、希望する生活に向けて、話し合っていきます。

それをもとにサービス等利用計画を作成し、サービスを利用する上での方向性について関係機関と共有し、連携を図ります。

保育所等訪問事業

すこやか園の療育を利用し、集団生活に支援が必要なお子さんに対してスタッフが幼稚園・保育園・認定こども園等を訪問します。



すこやか園

くやりがいく

地域活動支援センター

重田 夏枝



看護師

私は一人ひとり障がいが違う中で、「個々にあった支援や看護とは何か」を考えながら、障がいのある方々と日々向き合っている仕事をしています。近年、看護処置を必要とする利用者さんが増えています。一人ひとりの利用者さんと関わる時間を大切にしようと思っています。

例えば、午睡から目覚めると大きな発作が起きてしまう利用者さんがいます。いかに発作を誘発せずに、午睡から目覚めるかが課題です。私は、その利用者さんの行動を日々接する中でよく観察し、行動のパターンや傾向を総合的に把握することに努めます。好きな音楽をかけてみたり、他の利用者さんの声がよく聞こえるところで過ごしてみたりすることで、発作の誘発を減らすことに繋がります。発作があるから制限するのではなく、日々のかわりの中でのちょっとした気づきを、日々の観察で見えたことを工夫に繋げ、行動する事で利用者さん個々にあ

った支援・看護に繋がると感じ、そこにやりがいを感じて業務に取り組んでいます。今後、利用者さんが増えても、一人ひとりに合った支援・看護を丁寧に取り組んでいきたいと思っています。

児童発達支援事業

関根麻衣子



保育士
リーダー

早いもので、すこやか園で働き始めて今年で十年目となりました。これまで出会った子どもたちは、今どんなお兄さんやお姉さんになっているのかな…と時折感じるくらいの年月がたっていることを感慨深く思います。長く仕事を続ける中で、子どもたちの「できなかつたことができるようになった瞬間」に立ち会えること。そのときに感じる感動は今も色褪せず、些細なことと思われるかもしれないことでも、私としてはとても嬉しい場面です。そういった子どもたちの成長に自分が関わってきたことの何かが繋がっていたら嬉しいなと思います。今日もあれこれ考えを巡らせています。うまくいかないこともあります。これから子どもたちの笑顔がたくさん輝くように、またそれを見守っているお母さんたちも思わず笑顔になるような場面と一緒に感じられるように、これからも頑張りたいなと思っています。

相談支援事業

津野 裕子

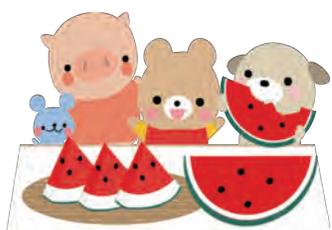


相談支援専門員
リーダー

私は、去年の十月にすこやか園生活支援センターに異動してきました。

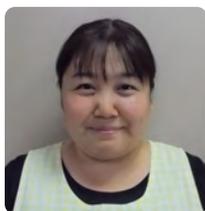
以前はソール平塚生活支援センターで(主に)身体に障がいがある方のサービスタ計画を立てる相談支援専門員の仕事をしていました。相談支援専門員の仕事はいろいろな人のお話を聴いて、それぞれの想いや価値観を知ることができたり、目標に向かって、利用者さんや関係する方々と一緒にアイデアを出し合いながら気持ち共有していけることが魅力だと思っています。関わった皆さんと一緒に『よかったね』と言い合えたときは、とても嬉しい気持ちになります。

療育機関での相談業務は初めてですが、お子さんやご家族の皆さんに教えてもらい、すこやか園の職員として成長しているよう頑張っていきたいと思っています。



日中一時支援事業

服部 久美子



支援員

ひなたほっこは幼児さんから高校生までの方が利用しているお預かりの場です。放課後、そして週末の開催なので、お疲れの様子で利用されるお子さんも多いですが、リラックスして、子どもたちも親御さんも安心して過ごせる(預けられる)場を作れるよう日々支援にあたっています。

そのような中「ここに来ると(子どもが)いい顔するんです」「卒業してもずっと通いたい」「ここだと安心していいみたいで」と保護者、学校の先生方に言っていただけでも嬉しく、もっと子どもたちの笑顔、成長が見たくなりま。それが私のやりがいだと思います。ひなたほっこでお仕事させていただき、四年半が経ちました。これから子どもたちの笑顔に元気をもらい、子どもたちと一緒に成長していけたらと思います。



精陽学園

〜やりがい〜

吉永 流香



栄養士
調理副主任

私が栄養士として勤務して十二年がたち、たくさん子どもたちの成長を見守ってきました。まだ歩けなかった子どもが歩けるようになったり、普通食を食べる事が出来るようになったり、立派に高校を卒業し、人生の大きな節目に立ち会うことが出来る事にも大きな喜びを感じています。

毎日かわいい子どもたちからの「美味しかったー」「うちこそやまー」の声、子どもたちの笑顔は何にも代えがたいエネルギー源です。私はこの一言があればどんな疲れも飛んでいきますー子どもたちとの日々の関わりや豊かな食の体験を積み重ねて、子どもの視線を大切にしてください。これからも精陽学園のこはん大好きーと言ってもらえるように努力していきます。十二年間続けられたのは自分の天職である精陽学園での栄養士という仕事が好きで楽しく、やり甲斐や達成感もあり、精陽学園の子どもたちと職員さんが誇りだからです。

藤井香菜子



理学療法士
リーダー

精陽学園に理学療法士（PT）として入職して今年で九年目を迎えました。これまでを振り返り、長く勤めることができた理由は、単純に子どもたちが可愛いからに尽きると思います。家族の様に近い形で関係を築くことができ、一人ひとりを大切に想う気持ちから、出来る限りのことをしてあげたい、そのような気持ちで私の働く原動力になっています。また、生活の場である精陽学園は、通常のPT室での機能訓練だけでは知れない情報を知ることが出来るため、PTとして何が大事なのかという本質と向き合うことができ、PTとしての役割について極めたと感じたことがやりに繋がついています。

そして、子どもたちの成長を職員間で喜び合えることも、この職場の醍醐味であり長く勤めることができた理由だと思っています。

福西 直美



事務員
リーダー

「やりがい」について考える前に、自分自身と振り返ると、今年の六月まで早十年が経ちます。それまでの私は、事務の経験は何十年とあるものの、職業安定所でこのような施設があることを初めて知りました。そんなりからのスタートだった私は、仕事を始めてすぐに、三ヶ月もつだろうか、私がいても何も役に立たない等、暗中模索の日々が続きました。そんな時、私が頭を抱えながら仕事をしていると、事務所に可愛い子どもたちが遊びに来てくれました。中には、頭痛いの？とか、お熱大丈夫？なんて心配してくれる子もいました。私が精陽学園で働き始めた時に小学生だった子どもが、今年の四月に就職し、誇らしげに返園していきました。私は直接処遇する事は出来ませんが、天真爛漫な子どもたちの笑顔と日々の成長をやりがいに、これからも精陽学園の為に、非力ではありますが頑張っていきたいと思えます。

平田 良介



保育士
リーダー

至泉会に入社し、精陽学園に所属して十二年目を迎えました。今回、「なぜ」の仕事長く続けてこられたのかという事をテーマに頂き、続けてこられた理由を改めて考えてみると、よくわかりません。ただ、仕事にすることが本当に嫌になった事はありません。職場に来れば、子どもたち、職員さん、学園をとりまく人達との関わりがあります。その関わりの中で笑える事が沢山あります。仕事は笑える事ばかりではありませんが、笑える事が出来る職場というのはとても良いものだと思えます。これまで働いてきて、沢山のひとと笑ってきました。これからも沢山のひとと笑えるのだろうと思えます。大変な事もありますが、笑っていられる内は頑張れると思えます。これからも笑いあえる職場であるように努力していきたいと思えますので、よろしくお願ひします。

(一) 概況

あけぼの園は一昨年に比べて園児が減少したため収入が減少しました。すこやか園は、一昨年度に比べて契約者数が少ない状態でスタートし、グループ編成を見直したり、登園日を増やしたりしましたが、幼稚園等との並行通園をしている園児や家族の都合で欠席する園児がいるグループは、出席率が低かったこともあり、全体の延べ利用人数は昨年度に比べて三六一名少なくなり、収入は減少しました。ソーレ平塚地域支援センターは、一昨年度に比べて体調不良や入院、施設入所により通所者が減少し、当初の見込みより減収することになってしまいました。精陽学園においては、成人サービスへの移行支援により高卒者は一名となり六月から満床となり、年間を通じて五十名の入所が継続できました。ただ、入所児童は男児が多く、今後、男児は居室の関係で受けることが難しい状況です。ソーレ平塚においては、利用者の高齢化に伴う体調不良により入院が

多くなり、毎月数名が入院している状態であったのと、体調不良等による退所者が出た後、入所候補者が中々決まらなかったこともあり、五月から七月まで定員に空きがある状態が続きましたが、八月以降は満床状態が継続できました。

(二) 職員採用について

昨年度も年度途中で退職した職員の欠員（保育士、生活支援員、看護師）の補充ができない状態が一部の施設で続き、療育や支援等に支障が出ている状況があり、インターネットでの求人、派遣、人材紹介等を活用して募集していますが良い人材が見つからず苦慮しているところです。

(三) 相談支援について

計画相談支援は、あけぼの園、ソーレ平塚生活支援センター、すこやか園において実施しています。が、年々相談件数が増え、かつ相談内容も多様化してきており、質の高いサービスを提供するため、相談員の質の向上と地域ネットワークの形成等、他事業所等との連携がより必要になってきています。

そこで、新年度から法人内で事業所間で連携し情報を共有できるように組織の見直しを始めました。

(四) 防犯・防災対策

津久井やまゆり園の事件を受けて、法人内の事業所でのような対策をしたら良いのか検討し、すこやか園に防犯ベルを設置し、精陽学園では、防犯用玄関鍵を取り付けました。また、警察署と情報を共有し、平塚市と伊勢原市の警察署が主催した防犯訓練に参加し、各施設でも警察署員を呼んで防犯訓練を実施し、実際にどのような対応をしたらよいのかを学びました。

防災については、施設ごとに日ごろから地域との関わりを大切に、地域の自治会や防災組織と連携をとるよう努め、災害時に地域で孤立しないようにしています。

昨年度はソーレ平塚において八月に台風九号が関東地方に上陸した際、近くの川が警戒水位を超えたため、利用者を二階に避難させました。これまでは、避難訓練はしても実際の台風で避難するとい

うことはありませんでしたが、昨今の異常気象や地震の発生を考えるとより具体的な避難計画等を作成しておかなければならないと感じさせられました。

(五) 設備改修・改善

各施設とも経年劣化に伴う建物や設備の補修・交換工事や交換が増えています。大きな工事では、ソーレ平塚のナースコール設備の更新工事を行いました。また、記録ソフトを導入し、職員の業務の軽減と情報の共有化を図りました。あけぼの園では、電話のリース契約が切れるのに伴い、新たなリース契約と合わせてインターネットのウィルス対策用機器（UTM）を購入しました。精陽学園では、高圧受電設備の自家用波及事故防止のために漏電遮断装置（PAS）を設置しました。

これからも当法人では、利用者・者の一人ひとりに向き合い、地域のニーズも積極的に受け止め、当法人を利用される利用者・者、ご家族が幸せになれるよう心がけていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

法人単位資金収支計算書
(自)平成28年 4月 1日(至)平成29年 3月31日

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	借入金利息補助金収入	657,800	657,800	0
	経常経費寄附金収入	935,371	975,871	△ 40,500
	受取利息配当金収入	72,250	73,064	△ 814
	その他の収入	6,647,755	6,259,716	388,039
	事業活動収入計(1)	924,292,969	925,296,117	△ 1,003,148
	支出			
	人件費支出	690,225,514	684,904,686	5,320,828
	事業費支出	95,013,196	94,391,712	621,484
	事務費支出	123,931,815	123,885,793	46,022
支払利息支出	776,600	776,600	0	
その他の支出	5,430,480	5,447,421	△ 16,941	
事業活動支出計(2)	915,377,605	909,406,212	5,971,393	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	8,915,364	15,889,905	△ 6,974,541	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	13,145,000	13,145,000	0
	施設整備等寄附金収入	500,000	500,000	0
	固定資産売却収入		30,000	△ 30,000
	施設整備等収入計(4)	13,645,000	13,675,000	△ 30,000
	支出			
	設備資金借入金元償還支出	14,800,000	14,800,000	0
	固定資産取得支出	15,050,635	15,006,865	43,770
	施設整備等支出計(5)	29,850,635	29,806,865	43,770
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 16,205,635	△ 16,131,865	△ 73,770
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	17,904,100	16,304,100	1,600,000
	その他の活動による収入		27,800	△ 27,800
	その他の活動収入計(7)	17,904,100	16,331,900	1,572,200
	支出			
	積立資産支出	27,411,100	29,165,000	△ 1,753,900
	その他の活動による支出	686,400	686,400	0
	その他の活動支出計(8)	28,097,500	29,851,400	△ 1,753,900
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 10,193,400	△ 13,519,500	3,326,100
	予備費支出(10)			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 17,483,671	△ 13,761,460	△ 3,722,211	
前期末支払資金残高(12)	215,798,421	215,798,421	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	198,314,750	202,036,961	△ 3,722,211	
当期末支払資金残高(11)+(12)	198,429,214	215,798,421	△ 17,369,207	

法人単位事業活動計算書
(自)平成28年 4月 1日(至)平成29年 3月31日

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	障害福祉サービス等事業収益	716,656,651	731,536,410	△ 14,879,759
	経常経費寄附金収益	975,871	928,711	47,160
	その他の収益	42,500	1,179,520	△ 1,137,020
	サービス活動収益計(1)	918,348,037	925,879,695	△ 7,531,658
	費用			
	人件費	692,370,370	678,104,464	14,265,906
	事業費	94,391,712	93,946,300	445,412
	事務費	123,885,793	121,772,811	2,112,982
	減価償却費	47,209,876	43,280,705	3,929,171
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 31,911,555	△ 30,714,845	△ 1,196,710	
国庫補助金等特別積立金積立額	13,145,000	14,425,000	△ 1,280,000	
徴収不能額		6,786	△ 6,786	
サービス活動費用計(2)	939,091,196	920,821,221	18,269,975	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 20,743,159	5,058,474	△ 25,801,633	
サービス活動外増減の部	収益			
	借入金利息補助金収益	657,800	986,700	△ 328,900
	受取利息配当金収益	73,064	80,159	△ 7,095
	その他のサービス活動外収益	6,217,216	8,490,665	△ 2,273,449
	サービス活動外収益計(4)	6,948,080	9,557,524	△ 2,609,444
	費用			
	支払利息	776,600	1,105,500	△ 328,900
	その他のサービス活動外費用	5,447,421	5,818,452	△ 371,031
	サービス活動外費用計(5)	6,224,021	6,923,952	△ 699,931
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	724,059	2,633,572	△ 1,909,513
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 20,019,100	7,692,046	△ 27,711,146	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	13,145,000	16,035,000	△ 2,890,000
	施設整備等寄附金収益	500,000	500,000	0
	固定資産売却益	30,000	1,000	29,000
	特別収益計(8)	13,675,000	16,536,000	△ 2,861,000
	費用			
	基本金組入額	500,000	500,000	0
	固定資産売却損・処分損	7	820,000	△ 819,993
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)		△ 336,312	336,312
	特別費用計(9)	500,007	983,688	△ 483,681
特別増減差額(10)=(8)-(9)	13,174,993	15,552,312	△ 2,377,319	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 6,844,107	23,244,358	△ 30,088,465	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	280,210,490	277,966,132	2,244,358
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	273,366,383	301,210,490	△ 27,844,107
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)	13,400,000	1,100,000	12,300,000
	その他の積立金積立額(16)	20,300,000	22,100,000	△ 1,800,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	266,466,383	280,210,490	△ 13,744,107

第三号第一様式

法人単位貸借対照表
平成29年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	263,318,401	276,822,971	△ 13,504,570	流動負債	126,319,757	124,558,083	1,761,674
現金預金	138,453,440	140,610,036	△ 2,156,596	事業未払金	19,259,021	33,141,214	△ 13,882,193
事業未収金	114,456,537	125,053,355	△ 10,596,818	1年以内返済予定設備資金借入金	14,800,000	14,800,000	0
未収金	309,202	180,750	128,452	1年以内支払予定長期未払金	686,400	686,400	0
未収補助金	6,495,200	7,188,900	△ 693,700	未払費用	41,974,621	25,275,839	16,698,782
立替金	3,051,944	3,198,787	△ 146,843	預り金	29,798	0	29,798
前払金	394,518	408,843	△ 14,325	職員預り金	0	2,607,497	△ 2,607,497
前払費用	133,800	133,800	0	前受金	18,000	0	18,000
仮払金	23,760	0	23,760	賞与引当金	49,551,917	48,047,133	1,504,784
その他の流動資産	0	48,500	△ 48,500				
固定資産	1,215,035,318	1,235,634,836	△ 20,599,518	固定負債	73,315,800	84,070,900	△ 10,755,100
基本財産	675,886,745	709,919,880	△ 34,033,135	設備資金借入金	2,000,000	16,800,000	△ 14,800,000
土地	52,510,368	52,510,368	0	退職給付引当金	70,171,800	65,440,500	4,731,300
建物	623,376,377	657,409,512	△ 34,033,135	長期未払金	1,144,000	1,830,400	△ 686,400
その他の固定資産	539,148,573	525,714,956	13,433,617	負債の部合計	199,635,557	208,628,983	△ 8,993,426
土地	3,000,000	3,000,000	0	純資産の部			
建物	1,113,240	1,967,715	△ 854,475	基本金	55,826,550	55,326,550	500,000
建物附属設備	702,350	175,430	526,920	第1号基本金	21,593,550	21,593,550	0
構築物	3,679,452	3,700,040	△ 20,588	第2号基本金	34,233,000	33,733,000	500,000
機械及び装置	1	1	0	国庫補助金等特別積立金	540,614,229	559,380,784	△ 18,766,555
車輛運搬具	15,280,971	13,440,552	1,840,419	その他の積立金	415,811,000	408,911,000	6,900,000
器具及び備品	22,893,106	26,691,123	△ 3,798,017	人件費積立金(措置)	13,000,000	13,000,000	0
権利	1,957,764	1,959,430	△ 1,666	施設・設備整備積立金(措置)	88,711,000	88,711,000	0
ソフトウェア	4,273,749	185,255	4,088,494	人件費積立金	44,200,000	54,800,000	△ 10,600,000
退職給付引当資産	70,171,800	65,440,500	4,731,300	施設・設備整備積立金A	195,600,000	180,700,000	14,900,000
人件費積立資産(措置)	13,000,000	13,000,000	0	施設・設備整備積立金B	38,300,000	35,700,000	2,600,000
施設・設備整備積立資産(措置)	88,711,000	88,711,000	0	移行時特別積立金	36,000,000	36,000,000	0
人件費積立資産	44,200,000	54,800,000	△ 10,600,000	次期繰越活動増減差額	266,466,383	280,210,490	△ 13,744,107
施設・設備整備積立資産A	195,600,000	180,700,000	14,900,000	(うち当期活動増減差額)	△ 6,844,107	23,244,358	△ 30,088,465
施設・設備整備積立資産B	38,300,000	35,700,000	2,600,000				
移行時特別積立資産	36,000,000	36,000,000	0				
リサイクル預託金	209,540	160,510	49,030				
長期前払費用	55,600	83,400	△ 27,800	純資産の部合計	1,278,718,162	1,303,828,824	△ 25,110,662
	1,478,353,719	1,512,457,807	△ 34,104,088	負債及び純資産の部合計	1,478,353,719	1,512,457,807	△ 34,104,088

平成二十八年 度 社会福祉法人 至泉会 決算報告

※詳細は当法人のホームページをご覧ください。